



上 力強く宣言する野呂君（左端）と傳法谷君（左から2人目）
右 巡回に出動する自主防犯パトロール隊の車両



自分たちのまちは自分たちで守る

春の安全・安心まちづくり推進大会が4月21日、松の館で開催されました。

同大会には、防犯ボランティア団体や警察官ら約90人が参加。防犯指導隊総隊長の手嶋成信さんが「防犯ボランティアの中核として、住民や関係機関と連携しながら安全で安心できるまちづくりに取り組みます」と決意表明を行いました。

また、JUMPチームを代表して野呂駿君（木造高3年）と傳法谷強君（木造中3年）が「万引き防止活動、自転車セーフティ・ツーブロック運動、あいさつ運動を通じて非行防止に努めます」と力強く宣言し、大会終了後には、パトカーを先頭に自主防犯パトロール隊が、青色回転灯を装着した車両で市内の巡回に出動しました。

景気回復に期待 1割お得な商品券

市商工会は定額給付金の支給に伴い、1割お得な共通商品券を4月22日、市内5カ所で発売しました。

商品券は、1,000円券が11枚綴りで10,000円とあって、発売開始時間の正午を待ちきれない市民約50人が列を作って並んでいました。

発売セレモニーで福島市長は「地域が活性化するようにご利用ください」とあいさつし、宮本純一商工会会長が「この商品券が少しでも皆さんの役に立てば、うれしいです」と話していました。

今回の発行総額は2,000万円で、市が200万円を助成。市内の商工会に加盟している194店舗で使用することができます。



商品券を買い求めに訪れた市民たち



修復した獅子頭とお可笑の面を身に付ける保存会のみさなん

式終了後、会員たちは、本来の姿に戻した獅子頭や面を付け、囃子にあわせて伝統ある踊りを披露し、出野里獅子踊りの継承を誓い合いました。

獅子頭を修復しお披露目

出野里獅子踊保存会（片山春樹会長）は4月26日、修復された獅子頭などの清め祓い式を旧出野里小学校体育館で行いました。

出野里に伝わる獅子踊りは、300年余りの歴史があり、後継者不足で一時途絶えたものの、旧出野里小学校の児童たちが1985（昭和60）年から受け継いできました。しかし、同校が閉校となったため、新たに地域住民らが保存会を組織し、継承活動を行っています。

式には、住民や来賓など約110人が参加し、関係者が玉串をささげた後、顔の色が黒色（修復前は銀色）、角が金色になった獅子頭と麻で作った赤い髪の毛のついたサルの化身（お可笑（かし））の面が、お披露目されました。

長寿100歳祝う 秋田谷さんおめでとう

老人保健施設「えんじゅの里」に入所している秋田谷ミヤさん（木造三ツ館）が5月2日、めでたく100歳の誕生日を迎え、顕彰状が贈られました。

秋田谷さんは1909（明治42）年、旧木造町に生まれ、死別した夫の金雄さんと農業に従事し、リヤカーを引いて野菜の行商を行っていたそうです。子供8人、孫24人、ひ孫37人、玄孫5人に恵まれ、現在も薬を飲んでいない健康なおばあちゃんです。

贈呈式では、成田福祉社社長が赤い祝い着を身に付けた秋田谷さんに顕彰状と花束を手渡し、お祝いに駆けつけた長男の清雄さんが「まだまだ健康で長生きしてほしいです」と話していました。

また、授与式後には施設職員による祝う会も行われ、秋田谷さんは、「よさこい」や「どじょうすくい」の踊りを見て、笑みを浮かべながら喜んでいました。



お祝いに駆けつけた家族に囲まれる秋田谷さん（前列右から3人目）



▲10^{キロ}コースに出発する参加者たち
笑顔を見せながら楽しく歩く子どもたち▶

自然を満喫しながらウォーキング楽しむ



「2009つがる市おやこウォーク in 地球村」が5月3日、つがる地球村で開催され、市内外から親子連れやウォーキング団体のメンバーなど約830人が参加しました。

ゴールデンウィークの恒例行事となったおやこウォークは、今回で6回目。この日はあいにく小雨がぱらついていましたが、参加者たちは3^{キロ}、6^{キロ}、10^{キロ}、15^{キロ}の4コースに分かれ、新緑を満喫しながら、自分のペースで散策し、完歩を目指しました。

また、会場内ではウェルカムライブやお楽しみ抽選会なども行われ、参加者は楽しい1日を過ごしました。



改築工事の安全を願ってくわ入れをする福島市長

車力中建て替え工事 安全祈願祭

校舎の老朽化に伴い耐震性が不足していた車力中学校の改築工事安全祈願祭が5月14日、同校敷地内で行われました。

安全祈願祭には、工事関係者ら約70人が出席。福島市長がくわ入れをした後に玉串をささげ、「一日でも早い完成を望みます。万全を期して円滑な工事を行ってください」とあいさつしました。

新校舎は鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は約4,200㎡。6つの普通教室と2つの特別支援教室を設け、県産のヒバ材がふんだんに使われ、校舎内はバリアフリー化されるそうです。建築、設備を合わせた工事請負額は約8億7,000万円で本年度内に完成を予定。来年度以降に着工する新体育館や現校舎解体費などを含む総工事費は約17億円を見込んでいます。



多くの市民らが吹奏楽を鑑賞

4月26日、北部航空音楽隊による演奏会が、松の館で開催されました。

同音楽隊は、北海道及び東北3県の地域で主に音楽活動を展開しており、地域を代表する吹奏楽団として親しまれています。

午後2時から開演した演奏会には市民ら約250人が詰めかけ、管楽器や打楽器からは、なじみのある大河ドラマ、時代劇、ディズニーソングなどの曲が演奏され、会場を埋めた音楽ファンを魅了していました。

会員の力作ずらり

山野草展示会

屏風山植物愛好会（工藤鉄男会長）が主催する「春の山野草展示会」が5月3、4日の2日間、木造中央公民館で開催され、1,000人以上の愛好者が訪れていました。

今回で28回目となる展示会には、会員が丹精込めて育てた約100種類、285鉢の山野草が展示され、来場者は会場いっぱいに並べられた鉢に見入っていました。

また、余剰苗の即売会も行われ、収益の一部を社会福祉協議会へ寄付しているそうです。



黒毛和種牛の放牧始まる 車力屏風山^{ぼくや}牧野

車力地区の屏風山牧野で5月7日、黒毛和種肉用牛の放牧が行われました。

冬の間、牛舎で過ごした牛たちは畜産農家のトラックで運ばれ、広さ約90畝もある牧草地に放されると元気に走り回り、青々とした牧草をはんでいました。

この日は、11戸の畜産農家が約77頭の雌牛と子牛を放牧。ピーク時期には約200頭の牛が放牧され、11月上旬頃まで放牧が行われます。

心も体もリフレッシュ!

市民の健康増進とストレス解消を図ろうとナイターリフレッシュの会（丹代千夏子会長）が5月11日、リフレッシュの集いを開催しました。

丹代会長は「運動を通じて同じ目的を持つ仲間と楽しく、無理なく運動して健康な体を維持してほしい」と話しており、参加者たちは成田寿子インストラクターの指導で、ストレッチ体操やエアロビクスをしながら体を動かし、心地よい汗を流していました。

活動日等の詳細については、「広報つがる5月号」の12ページに掲載しておりますので、ご覧ください。



適切な水管理を 福島市長が田植え督励

福島市長はじめ県普及指導室分室の職員や農協関係者らが5月11日、柏地区の水田を巡回して田植え農家を督励しました。

督励は品質の良い米作りを推進しようと毎年行われており、この日は、約4畝の水田につがるロマンを作付けしている藤田良海さんの水田を訪れ、福島市長は「今年は水不足が心配。いつも通りの収穫量になってほしいですね」と話しかけていました。

市農業士会が花壇苗を贈呈

花壇作りを通じて児童に植物を育てる大切さを学んでもらおうとつがる市農業士会（木村聡会長）が5月12日、柏小學校に花の苗150鉢を贈りました。

贈呈式には、4年生57人が参加し、同会副会長の佐々木浩巳さんから代表児童に苗が手渡され、児童たちは早速、正面玄関前の花壇に色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、サルビアの苗を植え付けていました。

同会は、柏小の他にも市内6小學校へ600鉢の苗を贈呈することにしています。



朝野球開幕 健闘を誓う

つがる支部朝野球大会の開会式が5月17日、芦屋グラウンドで行われ、17チームの選手ら約170人が健闘を誓い合いました。

45回目となる今年は、昨年より1チーム増え、メジャーリーグ11チーム、マイナーリーグ6チームが参加。

開会式では、市朝野球協会の藤本寿久会長があいさつし、木造教員クラブの蝦名貞治さんが「スポーツマンシップにのっとり、正々堂々と戦います。」と力強く宣言しました。

今シーズンは、7月下旬まで熱戦が繰り広げられます。



自然満喫！健康ウォーク

市民の健康増進と仲間づくりを目的に健康ウォーキング教室が5月17日、車力地区で行われました。

教室には、市民や愛好者ら約30人が参加。当日はスタート直後から雨が降りだす、あいにくの天候でしたが、参加者たちは新緑に囲まれたコースを仲間たちと会話をはずませて散策し、袴形池を眺めながらのフラットを折り返す、5.6kmのコースを約1時間半かけてゴールしていました。

次回のウォーキング教室は、6月18日に開催予定となっています。



富范小児童が田植え

総合的な学習の一環として富范小學校（松本和子校長）の5年生21人が5月19日、佐々木佐吉さん（車力町）の田んぼで田植え体験を行いました。

田植えに先立ち佐々木さんが、苗の生育や植え方などを説明。児童たちは、はだしで田んぼに入ると「つめてえー」と歓声を上げながらも、まっしぐらの苗を丁寧に植えていました。児童たちは秋まで苗の生育状況を観察するため、学校に苗を持ち帰り、バケツ植えをして学習するそうです。



やまぬ学業への意欲 長寿大学開講式

つがる市「長寿大学」開講式が5月19日、松の館で開催されました。今年の受講生は、新入生20人を含む119人。

開講式では、葛西学長（教育長）が各地区代表者に学生証を手渡し、学生を代表して小山内兼一運営委員長が「大学で学んだことを地域活動に役立て、クラブ活動にも活発に参加しましょう」と決意を述べました。

開講式終了後には、第1回目の学習会が行われ、前鳴沢公民館長の木村賢治さんが「おかげさま」と題して講演しました。

